

令和6年度第1回子ども・子育て会議

文化会館講習室

7月17日(水)18時30分～

出席者:10名 委任状提出者:1名

所属	氏名
和木こども園PTA会長	坂田 敬太
和木こども園PTA副会長	伊藤 翔太
和木小学校PTA会長	植木 義彦
和木小学校PTA副会長	石川 寛子
母子保健推進協議会会長	米本 道江
主任児童委員	原川 幸江
和木小学校長	河口 龍裕(委任状提出)
山口県幼児教育アドバイザー	佐伯 公夫
和木こども園長	岸本 京子
和木こども園副園長	松井 千登世
和木こども園副園長	福村 和子

事務局:松井事務局長、米村事務局長補佐、竹田係長、吉兼係長

関係課:正木課長補佐(保健福祉課)、上岡係長(保健福祉課)

國領保健師(保健相談センター)、應和保健師(保健相談センター)

関係資料は別添

開会	
松井事務局長	あいさつ。
事務局(米村)	委員の紹介。 和木町子ども・子育て会議設置要綱第6条第2項の規定により委員総数11人全員出席、会議成立の報告。
議題1 第3期計画の概要説明	
佐伯会長	では、早速ですが、議題1の説明を事務局お願いします。
事務局(米村)	それでは説明をさせていただきます。 ・第3期和木町子ども子育て支援事業計画(仮称)の策定について説明 ・計画の根拠、本年度策定する計画は、子どもの貧困対策計画と一体的に策定することを説明 ・こども基本法についての説明 ・人口、見込量、確保方策について算出について説明 ・第2期の進行管理と次期計画の策定スケジュールについて説明

	<p>第2回こども・子育て会議 10月 パブリックコメント 1月 第3回子ども・子育て会議 2月 計画最終決裁 印刷 3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て関連団体へのヒアリングの実施状況を説明 ・こども基本法についての説明 ・こどもからの意見聴取についての説明(こどもまんなかへの取組み) ・中学生に向けたアンケート(9月)、和木こども園年長児へのヒアリング(9月)について説明
佐伯会長	<p>ありがとうございました。委員の皆さん質問がありましたらお願いします。</p>
和木こども園 PTA副会長 伊藤委員	<p>自分の子どもも和木こども園に入園しており、児童数が少ないと感じています。</p> <p>こども園に入れたいけど人数がしぼられていて、上の子と下の子が同時に入園できず、和木にも町外にもだと送迎が大変なので、2人とも町外施設に行かせるという話を聞きます。</p> <p>本当は(その年齢の)人口はいるのに、入園が少ないというのはそれが影響しているのでしょうか？</p>
事務局(米村)	<p>それも一つあるかもしれませんが、2人とも入れてるが出ていく人もいます。なので、一概に児童数が少ないのは、それだけの影響じゃないように思われます。</p> <p>以前は、中学校卒業までは和木に住む方が多かったっていう感じでしたが、最近は、子どもが低年齢でも転出する方も居られます。</p> <p>出生数については令和元年度が多く、令和2年度はコロナの影響なのか、急激に下がっています。その減少した出生数が、前年の水準まで戻っていません。個人的な見解ですが、今後 40(人)前後を当面維持しつつ、緩やかに減少していくのではないかと考えています。</p> <p>また、(転出が増えているのには)いろいろな(子育て)施策が、(周辺市町と)重複してきていることも少し影響しているのではと思います。</p>
和木こども園 PTA副会長 伊藤委員	<p>人口はもっといるのに、こども園に入園していないのかなと思ったので。</p> <p>もう1点、アンケート調査を実施されるということですが、年長さんに限定する理由はあるのでしょうか。</p>
事務局(米村)	<p>国の実施するこども若者プラスの対象年齢が小学校1年生からなんです。</p>
和木こども園 PTA副会長	<p>年長さんの親に、ではなく年長さん自身にということなんですね。</p>

伊藤委員	
事務局(米村)	そうです。担任の先生に聞いてもらうんですが、どういった聞き方をしようとか、いろいろ考えているところです。低年齢になるに従って、意思の疎通が難しいと思うのでそこら辺も工夫しながら、何か聞けることはないかなっていうので。町のオリジナル色が強いような(取り組みを考えています)。内容については(検討中です。)
和木こども園 PTA副会長 伊藤委員	ありがとうございました。
議題2 第3期計画の骨子案説明	
佐伯会長	ありがとうございました。ほかに質問はございませんか。 なければ次の議題に進めたいと思います。それでは議題2の第3期和木町子ども子育て支援事業計画骨子等について、ご説明を事務局お願いいたします。
事務局(米村)	第3期和木町子ども子育て支援事業計画の骨子案等についてですが、地域科学研究所の岡田さんに説明をしていただきたいと思います。よろしくお願いします。
地域科学研究所 (岡田)	株式会社地域科学研究所の岡田と申します。骨子案の説明および、それに付随する形のもので、大きく3点説明をさせていただきます。 ・第2期和木町子ども・子育て支援事業計画の策定資料の説明 第2期計画と第3期計画の変更点 基本目標についての変更点 ニーズ調査結果を踏まえた課題 基本理念 追加項目の説明 ・計画骨子案についての説明 ・子どもの生活実態調査の追加説明
議題3 中学生へのアンケート調査と基本理念の検討	
佐伯会長	ありがとうございました。続きまして事務局から説明をお願いします。
事務局(米村)	今回、委員の皆様にも検討をしていただきたい項目を二つほど設けておりますので、説明させていただきます。 先ほど、計画の概要ということで説明した項目もございますが、中学生にアンケートをしたいとお話をさせていただきました。県は1学期に子ども達にアンケートを実施しています。調査はタブレット端末を利用。 和木町でも同様な方法を用いて、中学生に設問一つ目として、基本理念を聞いていきたいなと考えてるところです。このままの言葉では、中学生

	<p>は何のことやらとなってしまうので少しかみ砕いて、わかりやすいような、ニュアンスですとか、中学生から意見聴取できたらいいのかなと思っています。</p> <p>設問2としましては和木町のいいところ、もう少し頑張っって欲しいところ。このあたりが何か聞けたらいいのかなと、これもあくまで案なんですけども、最大設問数は3問ほどを想定しておりまして、3問目を委員の皆さんで、今日検討できたらいいなと考えております。</p> <p>ご意見ないようでしたら、事務局で考えていこうと思っております。</p>
佐伯会長	<p>わかりました。今、中学生からも意見を聞いてみるということで、設問2までが設定されております。もう一つということで設問3を、もしこの委員の方々から意見が出れば、それをまた砕いて、事務局の方で作るということでございます。何かご意見がございましたら、お願いいたします。</p>
事務局(米村)	<p>先程、参考までに、国の関係省庁別のテーマをご覧いただいたと思うんですけど、具体的にとかじゃなく、こんな感じっていうのも全然いいと思うんですよね。</p>
佐伯会長	<p>はい。そういう考えのもとに、具体的でなくてもいいですので、ニュアンスというのがありましたら、PTAの方から少しご意見を聞いてみたいなと思うんですが、植木会長さんいかがですか。</p>
和木小学校 PTA会長 植木委員	<p>(この質問の)大元の、聞く意味っていうのはなんでしたか。</p>
事務局(米村)	<p>大元の聞く意味は、子ども子育て支援事業計画ですので、子どもの意見を聴取しながら施策を推進していこうというのが、元です。小学生には子ども・子育て支援の調査で、小学生自身に答えていただく項目を設定させていただいてたんですけど、中学生にも何か意見を聞けたらいいなと考えています。この計画の関連事項としての設問として、設けていきたいなと。2学期、9月上旬になると思うんですけども、アンケート調査をできたらいいなというふうに今考えているところです。</p>
和木小学校 PTA会長 植木委員	<p>中学生だったら年頃なんで、和木町にこういったお店があったらいいなとか、そんな感じですかね。</p>
佐伯会長	<p>はい、ありがとうございます。そういう感じでご意見いただけたらということ、先ほどの岡田さんの方から説明がありましたが、第3期計画策定に係る調査結果から、今後の課題とかもあるので、そんなところもまた参考にさせていただきますか。</p>
事務局(米村)	<p>実は、会議が始まる前に坂田会長さんといろいろお話をして、基本理念、</p>

	<p>今は「わきはあったか大家族」っていうのが基本理念なんですけども、結構パワーワードなんで、これに代わるものを何か作れるかっていったらすごく難しい。</p> <p>中学生が何を考えてるのかなっていうところで、将来和木に住むのであれば、どんな街であってほしいかとかそんな未来の事を聞いてもいいのかなというふうには思います。</p>
佐伯会長	感想程度でもいいので、主任児童委員の立場から、原川さんいかがでしょうか。
主任児童委員 原川委員	小中学生、特に中学生ですから。将来やっぱり和木に住みたいかとか、将来和木に戻ってきたいとか、どういう感じだったら、将来ね、和木で暮らしたいとか、どうでしょうか？
佐伯会長	ありがとうございました。建設的な意見で、中学生にとっては大きな思いがあるでしょうし、和木町の課題でもありますので、いかに住んでくれるかという辺の視点ですね、また事務局の方でまとめていただけたらと思います。他にご意見ある方。はい、お願いします。
和木こども園 PTA会長 坂田委員	<p>この「わきはあったか大家族」っていうところなんですけど、このまえのニーズ調査、は、自分のことだったり、家庭内での話がメインだったと思うんですけど、繋ぐ地域の絆っていうところで、1ヶ所どっかで何か喋られる、相談できるその他の何とかがっていう項目があるのはあるんですけど、やっぱそこはもうちょっとフォーカスしたアンケートというか。</p> <p>逆に悩みはどこに相談するのという意味合いで。親や友達以外で相談できるところはありますかみたいな感じなのかなと。</p>
事務局(米村)	こんな相談窓口があったらいいなっていうような。
和木こども園 PTA会長 坂田委員	そうですね。
佐伯会長	<p>はい。貴重なご意見ありがとうございました。今出た意見を参考にして、事務局の方で三つ目の設問はまとめていただけたらと思います。よろしくお願いします。</p> <p>次の基本理念について、ご案内の方にも何か意見があれば考えてくださいねというのがありまして、今までは「和木はあったか大家族～あいさつと子どもがつなぐ 地域のきずな～」ということですね、コンパクトにまとめてきたわけなんですけども。今期の計画で見直しをしたらということもありますので、これまた忌憚のないご意見をいただけたらと思います。こども園岸本園長いかがでしょうか。</p>
和木こども園長	遅刻してすいません。小学校の方の会議に出席しておりました。5分前か

岸本委員	<p>ら参加したので、ちょっといろいろな内容が見えてないところがあるかもしれないですが、和木町のいいところは園・小・中が1園ずつ1校ずつで、ずっと子どもたちが町の人たちに大事に育てられているってところがすごく和木町らしい、地域の方にたくさん力をいただいて、子どもが育ってるってところが良いところだと思います。今日こども園に中学校の先生が来られて、園児にスマイル C のストレッチ等いろいろ指導していただきました。</p> <p>これも前園長の佐伯(園長)先生がいらっしゃった時から、ずっと引き継がれているものです。そこで会話に出たのが、中学生がいろいろなボランティアにすごく協力的で、声をかけるとすぐに協力してくれる。だけど、和木の一つの弱点は、子どもたちの中で中心になる生徒さんが、岩国地域とかだったら、新しい環境になって僕がやりますという感じで新しいリーダーが生まれるみたいなんです。だけど、和木はそこがちょっと背中を押しても、この子できるけどなどと思っても、中々「はいっ」て手が上がりにくい、それまでのイメージとか、ちょっと一歩前に出たり、ちょっと頑張ってみようってところが、遠慮がちであるところがもったいない気がしますって話をされてました。なので、中学生が「僕たちがボランティアやるので、町内の人、僕たちの力になってください、一緒にやりましょう。」っていう環境を作っていきたいですねって話になりました。そういう中学生が主になって頑張れるような和木町になればなと。</p>
佐伯会長	<p>ありがとうございました。ずっと教育畑では言われてきた、「地域作りは学校から。学校が地域を作る。」ってというような考えもあってですね。中学生にとっては、あったか大家族の和木をどう作っていくかなというスタンスで、今お話をいただきましたが、そういう面も育ってきてるってところを大事に作っていただけたらというところがございます。教育(関係)以外で、地域の保護者、親、そういった目線から、米本会長さん、何かございませんでしょうか？</p>
母子保健推進協議会会長 米本委員	<p>母推の活動しております米本です。</p> <p>岸本園長が言われましたように中学生のボランティアというのは本当にいろんなイベントの中ですごく目立っていて、この子たちがそのまま成長されて、いずれ町の大きな力になっていくのだろうなっていうのは常々感じています。なので、そういう子どもたちのパワーっていうのを地域の中で、本当に色んなところで活動できる場をもっと増やしてもいいのかなと思いました。</p>
佐伯会長	<p>はいありがとうございます。まず地域の大人の目から、そういう環境を構成していこうっていう環境作りは大人の力だよっていう、そして子どもた</p>

	<p>ちをのせて、頑張らしていけばっていうようなことでございます。 他にご意見ある方。はい、お願いします。</p>
<p>和木小学校 PTA会長 植木委員</p>	<p>すいません。先ほど岸本先生の話聞いて確かになるほどと思ったことがあって。 和木の子はやっぱり優しい子が多くて、反面自己主張ができないような 感じを最近よく思います。私の子どもが中学校にいて、中学校の部活で 合同チームが岩国の方の子と同じだったんですけど、やっぱりちょっと岩 国の子に比べて、元気がないというか、あんまりリーダーになりたがらな いって言うところがあるんですけど、やっぱり絆が強い分、そういう外に出 たときに少し弱い部分があるんで、小学校のうちから、可能かどうかわ からないですけど、よその小学校との交流がもっとあったら、強い子にな るんじゃないかなと思います。以上です。</p>
<p>佐伯会長</p>	<p>はい。ありがとうございます。和木町の子どもたちの特性というか、これか ら改善していかなきゃいけないところが見えたような気がします。そうい ったところを踏まえてですね、中学生からも、どんなことを設問に入れた らいいかっていうのも聞いてみるのも手だと思うので、こどもまんなか 社会だし、こども基本法ではしっかり子どもの意見を反映させて、行政を 進めていってほしいというのもあるので、今出たご意見と、中学生の意 見を事務局の方でまとめていただいて、作っていただけたらと思いま す。 よろしく願いいたします。それではこの計画方針について、何かご質問 があれば、全体的に。お願いいたします。岡田さんの方で答えていただけ ると思うので。大きくは6番のところを変えていこうということにもな っております。 あと基本理念も踏まえて、和木学園構想も入れていこうということにも なっております。</p>
<p>和木こども園 PTA会長 坂田委員</p>	<p>ちょっと趣旨とは話が違うかもしれないんですけど、前回のアンケート等 で児童児童の生徒の保護者のうち 20%がお金が足りなくて、家族が必要 とする食料や衣服が買えない、という回答が多かったと思うんです。 で、プラス子どもの数を持ってない理由として 60%がお金かかると回答 されているのにも関わらず、来年、中学校の制服変わるんですよ。来年 (でしたよね)?</p>
<p>事務局(米村)</p>	<p>もう変わってますね。</p>
<p>和木こども園 PTA会長 坂田委員</p>	<p>それで(制服代が)3万ぐらい上がってるんですよ。</p>

事務局(米村)	そうですね。
和木こども園 PTA会長 坂田委員	制服代が、(値あがっているのは)それちょっとあれですね。
松井事務局長	いいですか。 今年度、中学校の制服新たなものを導入しました。 すでに通っている今の2年生3年生は、ほとんどの方が、学生服にセーラ一服という状況です。新1年生は新しいかばん、それから新しい制服の方がほとんどです。これまでとちょっと違うのは、かばんとかを少し安めにしてですね、なるべく家庭のご負担にならないようにということも考えておりますし、あと一定の所得以下の方に対しては、町から、国県町のそういった支援もございますので、活用されていらっしゃるということ聞いています。
和木こども園 PTA会長 坂田委員	この一定(の所得以下)が難しいところですね。 中間層がやっぱりそこがもらえないところがあると負担が大きくなると。
松井事務局長	私もアンケートの数字がすごく気になっとったんですよ。どのあたり方が苦しいのかなと。
佐伯会長	こういったところはまたしっかりと、検討していただいて、改善できるところ、補助できるところ等々がありましたら、行政の方でまた力を貸していただけたらと思います。 せっかくですね、行政側からも保健センターと福祉課が来ておられますので、この骨子について何かありましたら、一言ずついかがでしょうか？
松井事務局長	いいですか。先ほど基本理念の部分とアンケートの部分があったんですが、まずアンケートの部分、和木町のいいところとか、あげてくださいと、設問3については1からまた考えましようということなんですけど子どもたちが将来どんなことをしたらいいとか自分がどう思っているのか、そういったことも、設問4として含めていきたいなと思います。 というのが、今回は和木学園構想を入れていきたいと思いますということなんですけど、これはみんなが先生、みんなが生徒で、先ほど園長、それから他の皆さんからもご意見あったんですけど「和木の子どもは、なんかちょっと手が挙がらないよね。」みたいなそういう部分をですね、この基本理念もそうなんですけど、こちらの方も何か周りが見守っていきましょうみたいな感じなんですけど、もっと子ども自身が活躍、それぞれの年齢のそれぞれの立場で活躍できる、そういった基本理念っていうのも、新たなこの第3期の計画の中でいいのではないかなというふうに思ってます。

	すのでまたそういったご意見もいただければと思っています。
佐伯会長	はい、ありがとうございます。 そういったところはまた10月に煮詰まったものが示されると思います。 それでは遅い(ですか)?
事務局(米村)	大丈夫です。中学生からの意見がこういった形になるか、ワードはどうなるかわかりませんが、中学生に聞くからにはやっぱり中学生にフィードバックしないといけないと思うんですよ。 それを取りまとめたものも含めて10月にまたこんな感じはどうでしょうかという提案をさせていただくことがいいかなと思っています。
佐伯会長	はい、そういったところを最後にまた確認をして終わりたいと思うんですけども、(一言ずつ)保健センターからお願いします。
保健相談センター(國領)	保健相談センター兼こども家庭センター國領と申します。チラシを1枚しか持ってきてないんですけども、6月1日にこども家庭センターを保健相談センター内に設置しております。人員は変わりはないんですけども、このチラシにも書かしていただけてますが、虐待やヤングケアラーなどの相談にも対応しますと書いてありますように、今まで母子保健機能を中心に、児童福祉の機能として追加されていたものを、もっとより強化して活動してまいります。 子どもさんも親御さんも、それだけじゃなくて私達周囲の大人もみんな笑顔になって、子どもさんの権利を守って生活できるように支援をさせていただきますのでどうぞよろしくをお願いします。ありがとうございました。
保健福祉課(正木)	保健福祉課の正木といいます。よろしくお願いいたします。 保健福祉課では、今年度妊婦さん用のタクシーチケットを配布させていただき施策を開始しております。妊婦さんに5,000円分のタクシーチケットを渡して、使っていただけたらと進めております。今後もそういったニーズとか、希望を取りつつ施策に反映させていけたらと思っています。ここからは保健福祉課とは違うんですけども、今年度の予定として和木町の総合計画というのが10年に1回、一番最上位計画なんですけど、和木町をこんなふうにしていきましょう、こんなふうにしていったらどうかっていうような、本年度アンケートの方を和木町内結構な世帯数を対象に、(この計画のアンケートと)似たような感じなんですけどやってみていくと聞いてますので、ぜひ皆さん、ご協力していただけたらと思います。よろしくお願いいたします。
骨子案の承認と今後の作業	
佐伯会長	はい。ありがとうございます。大体時間になってきたんですけども、いろ

	<p>いろいろ意見いただきましたがこの骨子に賛成いただける方は拍手をお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。拍手多数ということで、この計画骨子案は承認されました。</p> <p>以上で議議題の方は終了いたします事務局にお返しいたします。</p>
事務局(米村)	<p>佐伯会長どうもありがとうございました。また、委員の皆様におかれましては、骨子案のご承認ありがとうございました。</p> <p>この骨子案をもとに、今から計画の素案をしていきます。</p> <p>本日は長時間にわたり委員の皆様、お疲れ様でしたお帰りの際は、事故等に十分注意してください。本日はありがとうございました。</p>
閉会	